



『雨に消える椅子』  
椅子全体は、特殊な技術によって実現した巨岩のようなガラスの塊でできており、非常に大きな天体望遠鏡用のレンズをつくるための原料と同じ。提供:Mori Building



吉岡徳仁(よしおか とくじん)  
デザイナー 1967年生まれ。2000年吉岡徳仁デザイン事務所設立。デザインからアート、建築まで、多岐に渡りプロジェクトを手掛けている。作品はニューヨーク近代美術館やパリのポンピドゥーセンターなどの美術館に永久所蔵されている。世界のデザインの賞を多数受賞。TBS系「情熱大陸」への出演、アメリカNewsweek誌日本版による「世界が尊敬する日本人100人」にも選出されている。

## アートな麻布に魅せられて⑥

### 透明感のある、ガラスの椅子 「雨に消える椅子」

六本木ヒルズ、けやき坂通りにあるストリートファニチャーのひとつ「雨に消える椅子」。水の中にガラス片を入れたとき、その輪郭がだんだん消えていくように、雨の日にはまるでその姿が消えるかのように見える椅子です。半永久的な素材、ガラスを使用した透明感のある作品が、道行く人に「どうぞお座り下さい」と、やさしく声かけているような佇まいです。作品を発表したのは、デザイナーの吉岡徳仁氏。設置してから11年を経て、改めて作品について話を伺いました。

#### ●素敵な作品名への思いは？

『雨に消える椅子』という作品名はとても響きが素敵で、夢があります。どういう思いで命名されたのでしょうか。

六本木ヒルズやけやき坂で待ち合せをするときに『あのガラスの椅子の前にいるよ』と、皆さんに覚えてもらいやすい作品にしたかった。電話でのやりとりでも、分りやすい響きがいいなと思ってました。また素材がガラスなので、透明感のある名前をと、考えて付けました。

#### ●なぜガラスに注目したのですか？

2001年から六本木シンクゾーンでの活動を通じて、六本木ヒルズ計画の中でストリートファニチャーの作品設置の話が出ていました。参加が決まった時、素材として興味の

あったガラスで表現したいと考えていました。ガラスの持つ透明性、透明性そのものの光、輝き、色が自分の中で一つのテーマとして広がっていました。その光と物体を結びつけて、何か作りたいと思いました。私は最初に関くと、そのイメージが最後まで変わらないので、ストリートファニチャーの依頼を頂いた時点で、頭の中では『雨に消える椅子』が出来上がっていました。ガラスは石のように強度が強い点と、半永久的な素材という点も、作り手にとって、とても魅力的です。

#### ●製作から11年経った「雨に消える椅子」はいかがですか？

六本木ヒルズ周辺を通るたび良く見えています。屋外ですと時間と共に変化が進みますが、ガラスは周りの環境に溶

け込む、素材としてこれからも新鮮な感じで見られますので、ガラスで製作して良かったと思います。道行く人たちに、いつでも座っていただきたいです。

#### ●デザイナーとして様々なチャレンジをされていますが、デザイナーになっただけは満足ですか？

デザインといっても、たくさんのカテゴリーがあります。私は様々なものに興味があるので、閃きを大事にしながら挑戦しています。小学生の頃から将来は画家かデザイナーになる、と決めていました。当時から、油絵を描いてました。デザイン科のある高校に進学、卒業後、東京のデザイン学校に進み、プロダクトデザインを専攻しました。その後『イッセーミヤケ』で、様々な素材を使って作品を作るという機会に恵まれましたね。素材の特徴をいかに活かして、自分の思い描く作品に仕上げるかを学びました。シリコンの帽子の製作や、アクリルなど透明な素材も使いました。

独立してから、その範囲はさらに拡大し、今ではデザインからアート、建築にいたるまで、実に多岐にわたって作品の発表を続けています。作品の中にはニューヨーク近代美術館やパリのポンピドゥーセンターなどの美術館に永久所蔵されているものもあります。

#### ●最後に、吉岡さんのようなデザイナーを目指す若い人にメッセージをお願いします。

自分のアイデアを表現するデザインは、訓練によって生み出されると確信しています。訓練からアイデアが浮かんできます。そのためには、基本をしっかり勉強することが大切だと思います。さらに、様々なことを経験してほしい。体験することで、より物事に感動し、そこからよいアイデアが花咲くと思います。

ゆっくりと、静かな口調で受け答えして下さる吉岡さんは、その作品と一致する透明感のあるデザイナーでした。ガラスに限らず、使う素材も実に多彩で、吉岡ワールドを世界に発信しています。アイデアが尽きることはありません、と断言する吉岡さんに、穏やかな表情ながら、燃える闘志を垣間見た気がしました。

六本木ヒルズを通ったとき、みなさんも透明感あふれた、『雨に消える椅子』に座ってみてはいかがでしょうか。



『雨に消える椅子』の設置の作業風景



パリのオルセー美術館において、印象派ギャラリーのリニューアルプロジェクトに参加し、マネやドガ、モネ、セザンヌ、ルノワールに代表される印象派の作品群とともに『Water Block』が常設展示されている。ギャラリーに常設されたガラスのベンチは、印象派の描いた光の中に包み込まれるかのような、歴史と現代の美しい対話が始まる空間を創出している。

パリのオルセー美術館から依頼を受け、設置したガラスのベンチ『Water Block』。吉岡氏の事務所にも1台置かれている。



# 麻布びと

未来へ残したい麻布の声



六本木を語る水橋さん



扁額看板

百年余にわたり代々この地に住み続けている江戸っ子、いや麻布びとの水橋 則男さん(72)。六本木三丁目市兵衛町会長、同三丁目東地区まちづくり協議会長などを始め地域のコミュニティに貢献しながら、日本酒、ウイスキー・ワイン・焼酎などの酒類専門店、業務用の卸、一般販売を営んでいます。この地で家業を営んできたファミリー・ヒストリーを通して六本木についてお尋ねしました。

## 酒類専門店 水橋家 三代記

### 市兵衛町の軌跡

六本木外苑東通りから分岐した通称「市兵衛町通り」沿いは、昔今井台町と呼ばれた尾根道で、不動坂、丹波谷坂、寄席坂、なだれ坂、行合坂、御組坂などにつながっています。「明治時代に入るとこの道の先の霊南坂を下ると霞が関の官庁街、新橋・築地・銀座の繁華街に通じていました。市兵衛町二丁目(現六本木三丁目)は沿道に商店、その背後に住宅があり、市兵衛町一丁目(現六本木一丁目)には左右に東久邇宮邸、住友邸などの大邸宅が並んでいた」そうです。

初代の藤吉さんは富山市水橋町のご出身、芝浜松町にあった大きな酒問屋「山屋」から簾分けしていただき、上記の商圈を見越して、明治43年頃この地で麻布「山屋」を始めました。関東大震災を乗り越え、第二次世界大戦中にはお父さんが戦争に召集され、帰還後病弱が長引き、「昭和20年3月の東京大空襲による麻布の火災で家が焼け、幼い水橋さんを背負いながらお母さんは戦中戦後を通じて家の再建と商売継続のご苦労は大変で有難かった」と水橋さん。何も無い焼け跡で、遠くの国会議事堂が見通せ、煌めく星空を今でも憶えているそうです。

戦後になって、今、東京ミッド・タウンになっている前防衛庁の場所にアメリカなどの連合軍が駐留しました。食糧を始めあらゆる品物が不足時代で、特に日本酒の様なお酒なども足りず粗悪品なども出廻りました。しかし、「徐々に市兵衛町通りには一部商店などが戻り、麻布小学校の生徒も1学年、50人以上で5クラス、250人を超え6年生まであり子供たちも多数おりましたね」と昭和24年頃を回顧しています。その後、住宅もだんだん元に戻ってきたし、女優水戸光子が近くに、中村(萬屋)錦之介は今のレストラン瀬里奈の近辺に住んでいました。劇団員の頃の若き宮本信子さんもいました。「酒屋の商売は午前中に

御用を聞き、午後に配達する様な時代でした。」

次第に戦後の経済が復興してくるとウイスキーなどが流行し貴重品になり、注文をさばくのが大変でした。昭和39年(1964)にオリンピックが開催され、高速道路ができてくると六本木もだんだんトレンドな街になって来て、さらに外国人も増えました。昭和50年代から60年代になってくると、ゴーゴー・バーなどが出現、バブル経済の時期になるとそれがディスコにとり、繁華街になり、グルメとワインなどの洋酒の時代になり商売は伸びました。その反面、六本木には住宅も減り始めましたし、やがてバブルが崩壊し、段々ビジネスもやりにくくなりました。

### 個性あるビジネスの展開

この様な六本木の変容、お得意先の変化に応じて酒類専門店としてのビジネスも全国ブランドの酒類だけでは、価格的にも安売りが始まり厳しくなってきました。そこで一般の酒類の販売と共に、最近では息子の信也さんと共に企画し、地方全国の蔵元を訪ね、「ワイン、日本酒、焼酎などそこで醸造された特徴のある商品の発掘と取扱いで経営の差別化を計らないといけません」と自信をのぞかせる水橋さん。一例として、国産米100%で仕込まれた麴から生酒を搾り、さらに白米・米麴などの固形分と、液体分とに分けて搾り、そして滓引きをした上澄みの部分、火入れなし、3℃保存の「無濾過生酒」の日本酒があります。旨口、芳醇、色沢良好、酵母の香りが残る吟醸香豊かで、まことに個性的です。そして、そこにビジネスチャンスを見出し、商いをしています。

この麻布で地域の人たちがそれぞれに住み続けられ、そして家業のビジネスが継承されていくことが出来るまちづくりを水橋さんは願っています。ご商売柄の話にたとえれば、生酒の様に淡々として、人間味豊かなお人柄の麻布びとです。

参考文献/港区立港郷土資料館編 増補 港区近代沿革図集 麻布・六本木 取材協力:港区六本木3-3-4 株式会社 水橋 代表取締役社長 水橋 則男



上棟式などに飾る角樽



日本酒、ワインなどの貯蔵庫

株式会社 水橋  
水橋 則男さん

# ワタシも麻布っ子

このコーナーでは、あなたの大切な「家族」を紹介していきます。

麻布小学校のアクアとクローバーです。麻布小学校のアクアとクローバーは静かなちょっと怖い私たち。授業中は静かなので、池で遊んで、庭をお散歩します。春は桜を眺めたり、冬は雪をついばんだりして麻布の季節を楽しんでいます。



開校してから来年で140年を祝う港区立麻布小学校。実はカメや魚とアヒルたちの住まいでもあるんです。校庭へ入ると正面に東京タワー、人工芝の校庭脇にカメと魚の水槽が！緑溢れるせせらぎの庭ではアヒルがお散歩していて、都会の喧噪を忘れさせてくれます。

飼育担当の佐野正先生にお話を伺いました。

●わぁ、カメがいっぱいいますね。  
『クサガメ』の「こぶちゃん」と縁日でよく売っている『ミシシippアカミミガメ』というカメの2種類で、全部で8匹います。

●「麻布っ子」になって何年ですか？魚もいますね。  
カメは10年以上前から飼っていて、体長20センチくらいになりました。天気の良い日には水槽のへりに出て、気持ちよさそうに甲羅干しをしています。面白い光景ですよ。せせらぎにはフナやメダカなど併せて50匹くらいでしょうか。いつの間にか繁殖して増えました。

●アヒルも真っ白でキレイ！  
名前は全校募集で決まった「アクア」と「クローバー」。オス・メスの2羽で2代目です。3年前にひなから育てて、ここまで大きくなったんです。子どもたちに大人気で、隣の区立麻布幼稚園の園児たちもお昼休みに見に来たりするほどです。でも臆病なので、追いかけられたりすると小屋へ逃げてしまいます。



仲良くちょっとひと休み。

●お世話は誰がしているんですか？

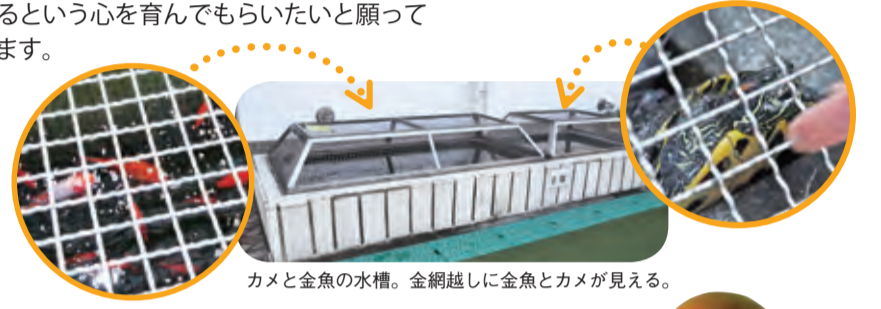
飼育委員会の4年～6年生の生徒13名が2名ずつ交代でやっています。麻布小学校には6つの委員会があって、子どもたちがいろいろな活動に取り組んでいます。飼育委員は生き物のお世話をするので大変です。作業は朝と放課後のえさやりとアヒルの小屋の掃除です。アヒルのえさは主に穀物の飼料、給食の野菜くずも食べるんですよ。栄養士さんが細かく切ってもってきてくれます。校長先生も早朝や夕方に見に来られますし、主事さんや私も手伝います。土日、夏休みの世話は子どもたちが交代です。小さい頃から生き物を大切にするという心を育ててもらいたいと思っています。



飼育担当の佐野先生。優しい先生に頭をなでてもらってごきげん。



校庭の奥にあるアヒル小屋とせせらぎの庭。



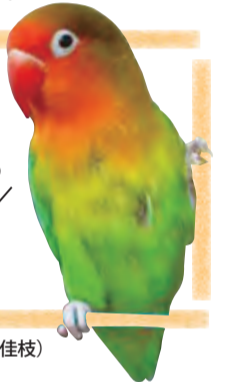
カメと金魚の水槽。金網越しに金魚とカメが見える。

あなたの大好きな動物をご紹介します。

必ず写真を添えて、下記宛てに郵送ください。飼い主の自薦、他薦は問いません。飼い主と一緒に写真も掲載できます。ご応募多数の場合は編集会議に諮りますが、採否の審査過程のお問い合わせには応じかねます。採用させて頂く場合は改めて取材に伺います。お送り頂いた資料は採否に拘わらず返却致しませんので、予めご了承下さい。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

〒106-8515 港区六本木5-16-45  
港区麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 「ワタシも麻布っ子」応募係

お待ちしております♪



(取材/大澤佳枝、田中亜紀 文/大澤佳枝)



有限会社 國重空間設計  
代表  
國重智之さん

昔から「空間」という言葉が好きで、高校生の時に将来のことを真剣に考えて空間をデザインする仕事に決めたそうです。  
<http://kunikukan.com/>

インテリアデザイナー

子どもに生きていく力を

# KIDS! ハローワーク

親子で読んでみよう

「空間」デザインで顧客の希望を形に

今回のテーマはインテリアデザイナーのお仕事です。港区立六本木中学校3年生2名が、インテリアデザイナーの國重智之さんにお話をうかがいました。

◎どのような仕事ですか？

建物が器(うつわ)だとすると、いわば器の中の空間をデザインする仕事です。店舗なら、お店の顔となる入口の看板を始め、内装全般を設計します。平面図でゾーン分けを決めてから、スケッチやパース(立体図)にします。陳列棚・照明・家具など、全体の雰囲気をつかみやすく描いてクライアント(店のオーナーなど発注者)に提案します。色や素材もきちんと伝えることが大切で、統一感を出すためには照明器具や椅子などの家具をオリジナルで作ることもあります。

◎仕事で難しいのはどんな点ですか？

デザインというのは「答えが一つでないところ」です。こちらが信念をもって提案しても、他の考えが評価され、競合相手の提案の方が採用され悔しい思いをすることもあります。

◎「良かった」と思うのはどんな時ですか？

それはやはりクライアントが喜んでくれた時です。お店を作るためには大きなお金を預かり形にしていけるので、「あなたに頼んで良かった」と言われると本当にうれしいです。



平面図で室内のゾーニング(区分け)作業に少しチャレンジ。

◎普段仕事をする上で心がけていることはありますか？

色々な仕事を同時進行で抱えているので、なるべく無駄に時間をかけずに最短距離でやるべきことに取り組むよう心がけています。もちろん、時には無駄も必要ですが(笑)

◎どんな人が向いていますか？

サービス精神があって、相手を喜ばせることが出来る人です。上手に絵が描けることよりも人とのコミュニケーションがとれる人の方が多くの仕事をしていると思いますよ。



インテリアデザインに関する基本用語から親切に教えていただきました。



國重さんが空間デザイン全般を手がけたワインショップ外観。



スケッチや図面作成に欠かせない小道具。



レストラン等の空間のデザインイメージを伝えるために描いたスケッチ例。

(取材/文/落合由伸(六本木中学校3年生)、橋本健悟(六本木中学校3年生) 取材サポート/出石供子、大村公美子)



ベネズエラ・ボリバル共和国  
 面積： 912,050平方キロメートル(日本の約2.4倍)  
 人口： 2,990万人(2012年、世銀)  
 首都： カラカス(人口450万人)  
 言語： スペイン語(公用語)  
 宗教： 国民の大多数はカトリック  
 元首： ニコラス・マドゥーロ・モロス大統領  
 議会： 一院制(164議席、任期5年、連続再選可)

外務省ホームページ  
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/venezuela/index.html>より

取材協力/ベネズエラ・ボリバル共和国大使館

セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ特命全権大使

大使を訪ねて 27  
**麻布の"世界"から**

# VENEZUELA



ベネズエラの国旗。黄色は豊かな天然資源、青はカリブ海、赤は独立時に流れた血を表している。独立時の州を表す中央の星は2006年までは7つだったが、かつて独立戦争の英雄シモン・ボリバルがガイアナ地域も含めるべきと主張していた経緯を受けて、2006年にデザインが変更された。



- 1 エンジェル・フォール。世界最大の978メートルの落差を誇り、水は落下する間に霧になってしまうため、滝壺がないという。
- 2 ロライマ山。このようなベモン族の言葉で「山」を意味するテピイと呼ばれる地形は20〜30億年前にできたと言われており、今なおこの地域固有の動植物も多く見られるという。
- 3 美しい景色が広がるカリブ海には多くの観光客が訪れる。
- 4 エル・システマの演奏の様子。お揃いのユニフォームはベネズエラの国旗をベースにしたデザインだ。

## ベネズエラと日本の関係をもっと強くしたい

約14年前、米国留学から帰国したベネズエラ・ボリバル共和国(以下、ベネズエラと略す)のある青年は、その熱い思いを手紙に託し政府に送った。後に、この手紙をきっかけに青年は外務省で働き、日本とベネズエラの架け橋となる。この青年こそ他でもない、セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ(Seiko Luis Ishikawa Kobayashi・石川成幸)特命全権大使だ。



ドアに掛けられていたベネズエラの国章。

### ベネズエラと日本を繋ぐ大使

ベネズエラは、中南米のカリブ海に面した豊かな自然と石油資源に恵まれた陽気なラテン文化の国だ。日本の約2.4倍の面積の国土に、約3000万人前後の国民を擁する。日本とも多方面で関わりがあるが、プロ野球のラミレス選手、カブレラ選手、ペタジーニ選手の出身国と言えば聞き覚えのある読者も多いだろう。

石川大使は沖縄県出身の父と山梨県出身の母を両親とする、いわゆる日系二世のベネズエラ人として彼の地に育った。1998年にシモン・ボリバル大学(金属工学専攻)を卒業した後、米国のハーバード大学大学院に留学し、2000年にビジネス戦略・マーケティング・金融等を専攻する特別講座を終了。その後、ボストンのコンサルティング会社に勤務する傍ら、冒頭の「手紙」を認めた。「既に存在する日本との関係の有効活用」「エネルギー分野での連携」「各種プロダクト(商品)の連携」という三点からの日本との関係強化を提案するものだったという。この提案もひとつの契機となり、大使は2001年に駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館経済・商務担当官に着任し来日する。その後、スペインへの転勤を経て、32歳で2005年より特命全権大使に着任した。

▼ベネズエラのカカオは香高いことで有名。ココアパウダーに加工されたものは日本では販売されていないが、欧米の高級なチョコレートの多くで使用されているという。



▲ラム酒。樽香の豊かな高品質なもので日本でも手に入るのことが、

▲4弦のクアトロ。このクアトロと、ベネズエラ若しくはアフリカ起源のマラカス、ヨーロッパ起源のアルパを組み合わせて、ベネズエラ独特の音楽が奏でられる。

### ベネズエラの魅力はやはり人と文化

大使にベネズエラの魅力を尋ねると、ひととき輝く笑顔でこのような答えが返ってきた。そして「ベネズエラ人は陽気でね、知らない人でもすぐに溶け込む事ができるんですよ。寛容性が非常に高いんですね。日系二世の私を国家の代表として大使にしてくれたのも、根底にはベネズエラ人の寛容性があるのかもしれないです」と続く。

文化の中では、とりわけ音楽も大変盛んな国だという。なかでも「エル・システマ」を紹介して頂いた。「エル・システマ」は正式名称を「シモン・ボリバル音楽財団」といい、ベネズエラ全土で活動するユース・子どものオーケストラや合唱団を統括している。1975年に設立された組織で、子どもたちの音楽活動への参画を通して、音楽を学ぶとともに協調性・社会性を身につける事を目指している。この活動は世界中で大きな反響を呼び、日本でも2012年に「一般社団法人エル・システマジャパン」が設立された。エル・システマジャパンは相馬市と提携し、東日本大震災で厳しい状況にある福島の子もたちが少しでも尊厳を回復し夢と希望を持つ事につながればと、2013年にはコンサートを相馬市にて実施。大使も相馬市へ頻りに足を運ぶなど、ベネズエラの文化は、「エル・システマ」を通じて日本にも広がりを見せている。

また、ベネズエラは美しい容姿の女性が多いことでも有名だ。大使によれば、元々ははっきりとした目鼻立ちの国民が多い事に加えて、幼少の頃からミス・ユニバースを見て育つなどの美意識の高さが背景にあるのではないかと、とのことだ。近年は子ども向けのネイルサロンも出来てきているという。また、「外見をきれいにするだけではなく、内面の美しさも磨き、誇りを持てるよう教育されています」と大使は語る。その他、国際大会でも強豪となっている相撲の他、生け花、盆栽、アニメ・マンガ、そして日本料理などの日本文化も広く浸透しているとのことだ。

### 大使から見た「日本」そして「麻布地区」

2010年に結婚し、奥様と二人のお子様と暮らす大使。休日は有栖川宮記念公園などで過ごす事も



多いという。結婚式を奥様の出身校でもある聖心女子大学のチャペルで挙げられるなど、日本との関わりは深い。

「麻布十番や六本木はここ数年で本当にどんどん変わっていますね。」麻布在住歴の長い大使が語る麻布地区の話は濃いものばかりだ。豆菓子のお店の話、昔からある玩具店の話など大使は生き生きと麻布の面白さを語る。「古いものと新しいものが混在するコントラストが面白い」という言葉に麻布地区への愛着が感じられた。



最後に、幼い頃から好きだったという日本のアニメについて伺った。小さい頃はロマン溢れるガンダムのファンだったが、最近はお子様と一緒に宮崎監督の「トトロ」や「千と千尋の神隠し」を見るという。「宮崎監督のアニメは見るたびに発見があります。単なる善悪の対立ではなく、善の中に悪があり、悪の中にも善があるという人間の奥深さが見事に描かれています。これは日本文化ならではの観点なのではないでしょうか。」大使の日本のアニメに対するコメントは、既にアニメの範疇を超えて、そこに日本文化の真髄を見出すかのようなとても厚みのある視座だった。

「宮崎アニメは、暴力がないところが好きです。」柔らかな笑顔でこう語る大使からは、その温かい人柄が滲み出ており、今にもベネズエラの陽気な音楽が聞こえてきそうだった。

(取材/出石供子、折戸桂子、田中亜紀、田中康寛、寺尾周祐 文/寺尾周祐)

旧麻布宮下町(現麻布十番1丁目)から旧一本松町(現在の元麻布3丁目と1丁目)へと上る坂道。

写真左手に見える“石垣”は何の跡だろう?と調べてみると、万治2年(1659)に増上寺隠居所(麻布一本松増上寺隠居所)が幕命により設置された場所であることがわかった。更に遡ると、天慶5年(942)に麻布氷川神社が創建された元地であることがわかった。今から千年以上遡ることのできる古い坂である。戦後しばらくはことにさびしく、追剥や痴漢が出没するため、夜など、とても女性や子どもの通れる道ではなかったと言われている。平成24年(2012)に左側の建物が一部解体されたことから、空が広がった。



昭和50年(1975):暗闇坂 坂上から  
写真撮影:田口政典氏 写真提供:田口重久氏



平成24年(2012)

坂上右側にはオーストリア大使館がある。左側は高い崖がつづき、坂道に樹木がおおいかぶさって非常に暗い。

# 麻布未来写真館 暗闇坂



平成24年(2012)

坂下から見上げると、右側の崖(石垣)は30年前と変わらず。どことなく木々が鬱蒼としていたであろう様子も想像できる。



昭和50年(1975):暗闇坂 坂下から  
写真撮影:田口政典氏 写真提供:田口重久氏

石垣自体は恐らく「増上寺隠居所」設置時にできたものだと思うのだが、いずれにしても古くからあるのは間違いない。木々が鬱蒼と生い茂り、文字通り“暗闇”であったのは故なきことかも知れない。

今でこそ“千年”前の面影を残してはいないものの、急こう配やうねり、佇まいそのものは、この坂に眠る多くの歴史を闇に閉ざしている様にも見える。千年の時を経て暗闇から光射すその姿に、閉ざされた多くの歴史が花開くのを期待せずにはられない。

“今”という光を受ける暗闇坂をゆっくり散策すると、ひょっとしたら閉ざされた歴史を垣間見ることが出来るかも知れない。

参考文献/港区立港郷土資料館編 港区 近代沿革図集(麻布・六本木) 昭和52年3月15日発行

## 「麻布未来写真館」とは

港区麻布地区総合支所では、平成21年度から区民や企業等と協働し、麻布地区の昔の写真などを収集するとともに、定点写真を撮影し、麻布のまちの変化を保存する取組として「麻布未来写真館」事業を運営しています。

当事業は、麻布地区の資料収集・保存を通じて、住民の方々にとって身近な歴史・文化的な資料価値を持つ写真を保全・継承するとともに、より一層の活用を目的としています。同時に、「まち」の歴史や文化をより多くの方々に知っていただき、まちへの愛着を深めていただく一助となることを目指しています。

「麻布未来写真館」では、古い写真を探しています。

未来に向けて、残し、伝えていくべきとお感じになる「麻布地区の古い写真」がありましたら、港区麻布地区総合支所までお寄せください。

詳細につきましては、「協働推進課地区政策担当」までお問合せください。

お問合せ 電話:03-5114-8812

(取材・文/田中康寛)

## 地域社会のゆくえ

15

# 17年で700回を超えた! 六本木をきれいにする会の活動

地元が好きだから

金曜日の夜、六本木交差点付近で揃いのジャケットに身を包み、掃除に精を出す集団を見かけたことはありませんか? ブルーの背中には白抜きで「六本木をきれいにする会」。地元の住民が毎週ボランティアで行っている清掃活動です。平成9年1月に始まったこの活動、この春で通算700回を数えました。

## 怖い街というイメージを払拭したい

発案者で会長の皆川昌博氏にお話を伺いました。会が発足したきっかけは「六本木を夜一人で歩くが怖い」という知り合いのお嬢さんの一言だったそうです。怖い街というイメージを払拭するにはどうすれば良いのか、皆川さんは地元の麻布警察署に相談しました。

## ニューヨークに学ぶ

警察署で紹介されたのは、ニューヨークのジュリアーニ市長の取り組みでした。割れたままの窓や捨てられたゴミが放置されていると、「放置の連鎖」が起り、犯罪の温床になる。

ニューヨーク市は街の環境浄化に真剣に取り組み、犯罪発生率を大幅に減らすことに成功したのです。皆川さ



車道においてまで吸い殻を拾う総合支所が募集した外国人ボランティア



六本木交差点付近の作業風景



六本木アートナイト二日目の朝、六本木ヒルズ自治会と共同で清掃作業を。今年は170人が参加。

んは地元商店会の青年部の仲間呼びかけて、街の定期清掃を始めました。

## 広がる活動の輪

「どうせやるなら目立った方が良い」と、清掃活動は人通りの多い“はな金”の夜に設定されました。雨天以外は毎週欠かさず清掃活動を続けるうちに、近隣住民だけでなく商店や企業の在勤者、地元の親子連れや外国人にまで活動の輪が広がっていきました。これまでの参加者は延べ約2万人にのぼっています。

清掃活動は午後8時から1時間。箒やチリトリを手に、三河台公園から2班に分かれ、六本木通りと外苑東通りの歩道や植え込みに捨てられたゴミを丁寧に拾い集めていきます。清掃活動を始めた当初は、目の前でわざと火のついたタバコを投げ捨



「六本木をきれいにする会」会長 皆川昌博氏

てる心ない人もいたそうですが、次第に人々の認知度もあがり、通りがかりの人が「ご苦労様です」とねぎらいの言葉をかけてくれるようになりました。道端のゴミも目立って減って来たと言います。

「きれいに掃除してあれば、汚すのが心苦しく感じるのかも知れませんが」と皆川会長。麻布警察署によると、清掃活動が始まってから路上での犯罪発生率も明らかに低下してきているそうです。

## 継続はチカラ

一回の清掃活動で拾われるゴミの量は限られていますが「夜間でも安心して歩ける街にしたい」という皆川さん達の願いは、17年間の地道な活動によって、着実に実りつつあるようです。



クリスマスの時期には、こんなコスチュームで、お掃除サンタに変身。

※参加お申し込み、お問い合わせは、「六本木をきれいにする会」公式サイト HP: <http://www6.ocn.ne.jp/~ro38/> まで。

(取材/出石供子、森 明 文/出石供子)



「サー・エドウィン・アーノルドが住んだ東京、麻布の家」  
出典：サー・E・アーノルド著 岡部昌幸訳 アーノルド ヤポニカ  
新異国叢書 第四輯 アーノルド ヤポニカ 雄松堂出版所収



「鉛屋」 THE AMEYA 1893 BY ROBERT FREDERICK BLUM WIKI GALLERY.ORG

パステルや油彩画で有名な米国人画家ロバート・ブルーム(Robert Blum 1857-1903)が、明治23年(1890)に来日し、増上寺、江の島、市井に住む人たちの絵を多く描いている。有名な「鉛屋」などを始め、雑誌の挿絵の「麻布の家」と「小さな中庭」などがある。また、同年初めに来日中の有名な英国詩人エドウィン・アーノルド卿(Sir Edwin Arnold 1832-1904)がこの「麻布の家」に入居している。ブルームとアーノルド卿は何のために来日し、この「麻布の家」はどこにあったか、家主さんは誰であったのだろうか。

### ロバート・ブルーム

ブルームは、オハイオ州出身、ペンシルベニア芸術アカデミーで学び、ヴェネツィアに行っている。当時、アメリカでもジャポニズムが台頭して来ていて日本の芸術に興味を持ったようである。来日の目的は、スクライブナーズ社の雑誌に、有名な英国詩人のE・アーノルド卿が書く記事「ジャポニカ」の挿絵を描くためであった。アーノルド卿は明治22年(1889) 11月5日に娘と共に来日した。ブルームは、やや遅れて翌年の6月6日到着している。ブルームは明治25年(1892) 8月30日サンフランシスコ行の船で帰国した。2年3ヶ月間におよぶ日本滞在中、銀座を愛し、自然や人々の生活の色彩に魅了されたブルームは、自分自身が画家でよかったと感じている。後に同じ雑誌に紀行文「日本での画家」を書き、多くの絵と併せて明治時代の日本をアメリカで紹介している。

### 麻布の家

アーノルド卿は、「記憶にいつも最初によみがえるのは江の島、次に麻布の楽しい小さな庭、そして三番目に比類なき富士山である」と書いている。さらに、麻布の家の周辺を「桜並木道を進むと麻布の家の反対側に神社がある」とか、「鳥居付近の神社は木が植えられ、日に当たりながら遊ぶ子供や井戸端会議の人たちがいる」と書いてはいるが、住所がない。

また、日本語版ジャポニカには、「麻布の家」の絵の解説に「家主は警視庁に勤務する麻生氏で、隣接する広大な本邸には池と庭があった」と書いてあった。これだけでは家主さんを特定するのが困難である。だが、ジャポニカの「序」にアーノルド卿との別れに際し、家主から「いかなりし えにしなるらん はらからの友としおもう 異国の<sup>こくとくに</sup>人」との和歌を優雅な短冊にしたためて贈られ、その詠み人として「麻生武平」と署名があった。アーノルド卿がその「麻布の家」に住み、ブルームが「麻布の家」を描き、それを挿絵にしている。

明治32年(1899)に築地居留地が廃止されるまで、それ以外には条約で外国人が居住できず、例外として教師か、政府の役人となった外国人のみが居住を認められた。そこで、アーノルド卿が麻布に住むために、家の持ち主の役人(インスペクター、Inspector)である麻生に、アーノルド卿が家賃を払うという理由を申し立てたが認められなかった。そこで、アーノルド卿が麻生の家族3人の英語の家庭教師となり、また麻生が書いている日本史の英語版の校訂をするとして麻生が年100ポンド(6円)の授業料の支払を約束し、麻布に住むことになったと言われている。

### 「麻布の家」の家主さん

この記述から、麻生は、役人で、しかも明治時代に英文で日本史を書くほど稀な人物と考えられる。

麻生武平(1835-1907)は、元治2年(1865)慶應義塾に入学し、卒業した「福沢諭吉門下」であった。明治2年(1870)海軍練所、英学、及び英学教授書取調海軍兵学中教授、海軍省六等出仕、後に海軍機関大鑑(海軍大佐)となり、明治40年(1907) 4月27日に不帰の人となっている。海軍兵学寮発行「機學要語」などの翻訳者、並びに「日本歴史図解上世紀第二巻」の著者としてその名前が出る海軍軍人であることが分かった。



「麻布の家」の家主である麻生武平。  
海軍機関学校生活所収  
国立国会図書館所蔵

日本歴史図解上世紀を調べると、その本の緒言に「<sup>このころは</sup>項者余日本歴史圖解の著述に従事せり <sup>たまたま</sup>遇英国の博士『エドウィン・アーノルド』氏本邦に来遊するに会い、余この史文を訳して氏にその訂正を…」と書き、次ページにアーノルド卿が「The Emperor's Breakfast」と言う詩を書いている。日本語・英語の「日本歴史図解」は明治23年6月より第1巻、第2巻と発行されていた。編集人は麻生武平、住所が東京市麻布区麻布今井町41番地(現在六本木2-1)であった。これでアーノルド卿と麻生武平との関係が証明され、住所も特定できた。

ブルームの挿絵「麻布の家」は、麻布今井町41番地で、現在の番地からして赤坂氷川神社と道を挟んだ反対側の場所にあり、今でも赤坂氷川神社にはジャポニカに書いてあったその光景が見られる。

この「麻布の家」にはE・アーノルド卿が住んでいたのであるが、ジャパン・ディレクトリー幕末・明治在日外国人・機関名鑑をみると、もうひとり英国人、元英国陸軍工兵少将H・S・パーマーが明治23年に住んでいたという。(29号 麻布の家② に続く)



現在の六本木2丁目周辺。  
「増補港区近代沿革図集」より。  
明治20年(1887)当時。

## 麻布の家 — ① 米国人画家の来日

# 麻布の軌跡



「小さな中庭」  
出典：サー・E・アーノルド著 岡部昌幸訳 アーノルド ヤポニカ  
新異国叢書 第四輯 アーノルド ヤポニカ 雄松堂出版所収

参考文献／サー・E・アーノルド著 岡部昌幸訳 アーノルド ヤポニカ 雄松堂出版  
大野順子 ロスウェル著 ロバート・ブルーム junkoonorothwell.com/RobertBlum.pdf  
Robert Blum An Artist in Japan Scribner's Magazine April&June, 1893  
Wright Brooks Interpreter of Buddhism to the West, Sir Edwin Arnold  
New York: Bookman Associates 1957  
Weber Bruce Robert Frederick Blum (1857-1903) and his milieu  
Ann Arbor, Mich.: University Microfilms International 1986 c1985  
Letters Arnold to Blum 1890 5letters New York Public Library

麻生武平著 日本歴史図解 上世紀 第二巻 丸善社書店  
海軍機関学校 海軍機関学校一覽(明治四十年二月) 国立国会図書館近代デジタルライブラリー  
海軍兵学校編纂 海軍機関学校生活 同 近代デジタルライブラリー  
横浜開港資料館監修 The Japan Weekly Mail Edition Synapse Reprint Series I 1870-1899, Part5  
Yokohama Archives of History  
大高利夫 福沢諭吉門下 日外アソシエーツ株式会社  
立脇和夫監修 ジャパン・ディレクトリー 幕末・明治在日外国人・機関名鑑 第12巻 ゆまに書房  
樋口次郎著 祖父 パーマー 有隣新書

リラ・キャボット・ペリー (ザ・AZABU Vol.19)とロバート・ブルームの研究家である在米画家 順子 ロスウェルさんに多くのお教えを頂き、お礼を申し上げます。

(文/森 明)

## 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金のお知らせ

消費税率の引上げに際して、所得の低い方や子育て世帯への影響を緩和するため「臨時福祉給付金」または「子育て世帯臨時特例給付金」を支給します。平成26年1月1日時点で住民票が港区にある人を対象としており、各給付金を受け取るためには申請が必要です。対象となる人には、7月中旬に申請書を送付する予定です。

### ◆対象者及び支給金額

|      | 臨時福祉給付金  | 子育て世帯臨時特例給付金   |
|------|--|--|
| 対象者  | 平成26年度分の区民税(均等割)が課税されていない人(区民税が課税されている人の扶養親族は対象外です。)                     | 平成26年1月分の児童手当の受給者で、平成25年の所得が児童手当の所得限度額未満の人(臨時福祉給付金対象者等は対象外です。) |
| 支給金額 | 給付対象者1人につき1万円(老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金、児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者には、5千円の加算措置があります。) | 対象児童1人につき1万円   |

※平成26年1月1日時点で港区に住民票がある人が対象です。

※生活保護制度の被保護者は、保護基準改定により対応したため対象となりません。

### 今後のスケジュール(予定)

- 申請書の送付・申請受付開始 平成26年7月中旬
- 各給付金支給開始 平成26年8月上旬から順次
- 申請受付終了 平成27年1月中旬

※スケジュールの詳細については、広報みなと(7月1日号)等でお知らせする予定です。

※区内在住の公務員は、勤務先から配布される「申請書」と「児童手当(特例給付)受給状況証明書」を申請受付開始日以降に区に送付してください。

気をつけて  
ください!

区の職員を装った詐欺が発生しています。各給付金に関する振り込み詐欺や口座情報といった個人情報の詐取にはお気をつけください。

☆詳細は港区ホームページをご覧ください。

URL / <http://www.city.minato.tokyo.jp/rinjifukushitan/rinjifukushikyuhukin.html>

お問合せ / 臨時福祉給付金担当・子育て世帯臨時特例給付金担当

電話 / 03-3578-2844・2845

## 地域福祉係(みなとボランティアセンター)からのお知らせ

### 「第34回共に生きるみんなの歌と踊りのつどい」を開催します

詩・ダンス・歌を通じて、障害のある人もない人も一緒になって参加し、楽しむ毎年夏の恒例行事です。ぜひ会場へお越しください。

- 日時 平成26年7月5日(土)午後1時30分～4時
- 会場 麻布区民センター 区民ホール
- 内容 区内の福祉施設・ボランティア団体などによる歌・ダンス・詩の発表
- 入場料 無料

お問合せ / 港区社会福祉協議会 地域福祉係(みなとボランティアセンター)

電話 / 03-6230-0281

## 麻布消防署からのお知らせ

### STOP! 熱中症～こんな日は要注意～

★梅雨の合間で突然気温が上昇した日 ★梅雨が明けて蒸し暑い日に暑さが慣れていないときに熱中症になりやすくなります。

- 熱中症の原因の一つが、高温と多湿です。屋外では強い日差しを避け、屋内では風通しを良くするなど高温環境に長時間さらされないようにしましょう。
- こまめな水分補給を
- のどが渇いてから水分補給するのではなく、例えば時間を決めて水分補給することや外出前に水分補給をするなど、意識的に水分補給を心がけましょう。
- エアコンなどで室内温度を調整しましょう。

お問合せ / 麻布消防署警防課防災安全係 電話 / 03-3470-0119

## 都税についてのお知らせ

東京都では、現在、法人事業税・地方法人特別税・法人住民税、23区内の事業所税、23区内の固定資産税(償却資産)について、eLTAX(地方税ポータルシステム)を利用した電子申告等の受付を行っています。東京都で現在利用できる手続きは下表のとおりです。

|         | 法人事業税・地方法人特別税・法人住民税  | 事業所税(23区内)                                 | 固定資産税(償却資産)(23区内) |
|---------|--|--|-------------------|
| 電子申告    | ・予定申告<br>・中間申告<br>・確定申告<br>・均等割申告<br>・清算確定申告<br>・修正申告 など   | ・納付申告<br>・修正申告<br>・免税点以下申告<br>・事業所用家屋貸付等申告 | ・償却資産申告           |
| 電子申請・届出 | ・法人設立・設置届出<br>・異動届出<br>・中小企業者向け省エネ促進税制による減免申請<br>・申告書の提出期限の延長の処分等の届出・承認申請<br>・法人税に係る連結納税の承認等の届出 など | ・事業所等新設・廃止<br>・事業所税減免申請<br>・みなし共同事業に関する明細  |                   |
| 電子納税    | ・本税の納付<br>・延滞金の納付<br>・加算金の納付<br>・見込納付  | ・本税の納付<br>・延滞金の納付<br>・加算金の納付               |                   |

## 便利な電子申告・電子納税等をご利用ください!

### eLTAXのご利用時間

各手続きの受付時間 / 平日 午前8時30分～午後9時 ※1  
(土・日・祝日、年末年始12/29～1/3は除く)

※1 平成26年9月から午前8時30分から午前0時まで拡大される予定です。

### 利用手続きについてのお問合せ

eLTAXホームページ / <http://www.eltax>  
eLTAXヘルプデスク / 0570-081459  
(PHS・IP電話をご利用の場合:045-759-3931)

平日 午前8時30分～午後9時 ※2  
(土・日・祝日、年末年始12/29～1/3は除く)

※2 平成26年9月から、ヘルプデスクの受付時間が変更となる予定です。受付時間については、平日午前9時から午後5時までとなります。詳細につきましては、eLTAXホームページをご確認ください。

### 申告内容や審査・納税についてのお問合せ

電子申告・電子申請・届出 / 所管都税事務所の各税目担当係  
電子納税 / 所管都税事務所の徴収管理係  
港都税事務所 03-5549-3800



## 港区総合防災訓練(麻布地区会場)実施のお知らせ ～どなたでも参加可能です～

日時 平成26年10月5日(日)午前9時30分～11時30分(小雨決行)

場所 港区立六本木中学校 ※訓練内容等につきましては次号でお知らせします。

お問合せ / 麻布地区総合支所協働推進課 電話 / 03-5114-8802

# 港区麻布地区総合支所だより



## 「六本木安全安心憲章」みんなで守ろう、六本木の地域独自ルール ～賑わい綺麗なまち六本木を目指して～

平成25年7月23日に、六本木地区安全安心まちづくり推進会議(以下、推進会議)において、「六本木安全安心憲章」(以下、憲章)を制定しました。

この憲章は、六本木のまちの安全・安心に向けた“シンボル”となる六本木地区の独自ルールで、六本木が目指すまちの姿を宣言するとともに、六本木のまちですべての人が守るべきまちのルールを示しています。また、六本木地区の主要な

課題「防犯」「環境美観」「路上喫煙」「道路使用」「営業活動」の5つに対応して規定しています。

推進会議では、この憲章を広く周知し、六本木地区にかかわりのある多くの人々や団体の皆さんにも関心を持っていただけるよう、各種イベントや取組を実施しています。

### 「六本木安全安心憲章」の制定一周年を記念する行事を開催します

(主催:六本木地区安全安心まちづくり推進会議)

#### 〔昼の部〕六本木安全安心憲章制定一周年記念イベント

憲章の制定から一周年を迎えるに当たり、六本木地区の皆さんとこれを祝うとともに、憲章の理念をまちのルールとして着実に浸透させることを目的にイベントを開催します。

- 日時/平成26年7月31日(木)午後2時～午後4時(午後1時30分受付開始)
- 場所/麻布区民センター(麻布地区総合支所)地下1階 区民ホール(港区六本木5-16-45)

#### 当日プログラム

※プログラムは変更する場合があります。

- 14:00 開会
- 14:15 憲章の賛同事業所等の公表
- 14:35 憲章のシンボルマークのお披露目  
シンボルマークデザイン入賞者表彰式
- 15:15 記念講演(講師:山本 俊哉 氏)  
まちの安全安心に向けた地域の取組み  
～「六本木安全安心憲章」の更なる推進を目指して～
- 16:00 閉会

#### ●記念講演講師プロフィール



山本 俊哉 Toshiya Yamamoto  
一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ代表理事  
明治大学理工学部建築学科教授  
千葉大学大学院修士課程修了後、建築・都市計画コンサルタント事務所を経て、2005年より明治大学理工学部専任教員として着任、現在に至る。専門分野は都市計画、建築・都市安全学。

#### 〔夜の部〕六本木安全安心憲章PR&客引き防止キャンペーン

憲章の周知とその中の項目のひとつである客引き行為の防止を広く訴えるため、六本木交差点付近で、来街者等に憲章をPRするとともに、外苑東通りを中心に客引き防止パトロールを行います。



▲昨年12月のキャンペーンの様子

- 日時/平成26年7月31日(木)  
午後8時～午後9時 ※雨天中止  
(午後7時30分受付開始)
- 集合場所/麻布区民センター(麻布地区総合支所)地下1階 区民ホール

#### 参加方法(昼・夜の部共通)

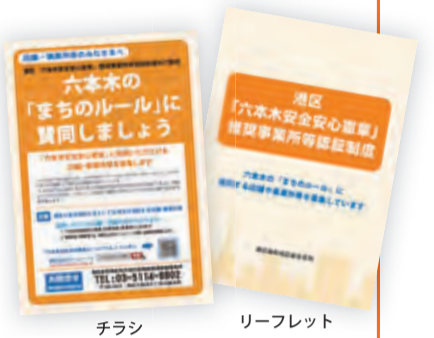
参加費/無料  
お申込み/事前に下記問合せへご連絡の上、当日会場又は集合場所に直接お越しください。  
※先着順とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係  
電話/03-5114-8802

### ●港区「六本木安全安心憲章」推奨事業所等認証制度

憲章をより多くの店舗や事業所等に周知する一環として、港区「六本木安全安心憲章」推奨事業所等認証制度を平成26年4月に創設しました。この制度は、憲章の趣旨に賛同していただける店舗・事業所等を募集するとともに、その中で、憲章の理念に即し、地域で積極的かつ具体的な活動を行っている店舗・事業所等を港区が「認証」し、広く情報発信していくことで相乗的な周知・浸透を図っていくことを目的としています。

- 対象/六本木地区(六本木3～7丁目及び赤坂9丁目七番)に主として立地または活動する店舗・事業所等。
- 応募方法/憲章の趣旨を理解したうえ、賛同書に必要事項を記入して、郵送または窓口持参により港区麻布地区総合支所協働推進課へ提出してください。※賛同書は、区のホームページからダウンロードできるほか、麻布地区総合支所で配布しています。
- メリット/
  - 賛同店舗・賛同事業所 憲章の趣旨に賛同し、応募いただいた店舗・事業所を賛同店舗・賛同事業所として、港区公式ホームページや地域情報紙に名称を掲載します。
  - 推奨店舗・推奨事業所 賛同店舗・賛同事業所のうち、憲章の理念に即し、地域で具体的な活動を行っている店舗・事業所等については、港区が推奨店舗・推奨事業所として「認証」し、認証状とステッカーを交付します。また、推奨店舗・推奨事業所の名称と活動内容を港区公式ホームページや地域情報紙等により情報発信していきます。



チラシ リーフレット

### ●六本木安全安心憲章シンボルマーク優秀賞・入賞者 発表

憲章を広く知っていただくため、シンボルマークのデザインを募集した結果、このたび入賞者が決定しました。応募作品は、憲章の趣旨を踏まえているか、デザイン性や新規性等を基準に、デザイナーの長友啓典氏、葛西薫氏、廣村正彰氏の審査により選定しました。



入賞作品のうち、優秀賞を憲章のシンボルマークとして、広報活動等に使用します。7月の制定一周年記念イベントの表彰式後は、憲章周知のための看板、キャンペーン等で配布する啓発品への印刷、その他あらゆる場面でシンボルマークを活用します。

- 入賞者/全部で94点の応募がありました。入賞者は以下のみなさんです。
  - 優秀賞(1点:採用デザイン)  
よねだ みずほ 米田 瑞穂さん
  - 佳作(5点)  
おおうちだ ゆうと 大内田 侑音さん   かわはら まゆこ 川原 万由子さん   くろかわ まほ 黒川 真帆さん  
はらだ とうこ 原田 終紀さん   みむら りりこ 三村 凜々子さん

## ザ・AZABUへのご意見・ご要望をお寄せください

ご住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課へ。  
●電話/03-5114-8802 ●FAX/03-3583-3782

## 編集委員を募集しています

地域情報紙「ザ・AZABU」はホームページからご覧になれます。  
「ザ・AZABU」は英語版も発行しています。



## ザ・AZABU

●配布設置場所のご案内  
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書サービスセンター、南麻布・本村・麻布・西麻布・飯倉の各いきいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等  
●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Chief 田中亜紀  
Sub Chief 高柳由紀子  
Staff 出石供子 寺尾周祐  
大澤佳枝 満木葉子  
大村公美子 森 明  
折戸桂子 山下良蔵  
芝崎義則 渡辺久剛  
田中康寛  
Junior Staff 落合由伸 橋本健悟

### 編集後記

編集委員になって、初めてでしたが麻布・六本木地区には興味ある場所が多いですね。港区七福神巡りの多くは麻布地区ですし、パワースポットといわれる場所もあります。又、坂道も数多くあり、それぞれ饅頭坂(うどんざか)・暗闇坂(くらやみざか)など興味ある名前がついています。周辺に創業100年を越える店舗もあり、トレンディータウンの街並みが広がっています。これからの季節、街歩きには絶好のときです。あなたの知らない麻布を探してください。(芝崎義則)

### 「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。  
年中無休/午前7:00～午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752  
Eメール/info@minato.call-center.jp

“Minato Call” information service  
Minato call is a new city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.  
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: info@minato.call-center.jp